

さちしお

 日本赤十字社 石川県赤十字血液センター
Japanese Red Cross Society

赤十字血液センターだより

「血液事業をとおして、みなさまの幸せに貢献する」との願いを込め、
幸せの「幸(さち)」と「血潮(ちしお)」を組み合わせ、名付けられました



石川県赤十字血液センターHP



公式 Twitter
はじめました



@ishi_kenketsu

なぜ？なに？教えて！献血を実施しました！

Vol.146

2022.10 SACHISHIO

なぜ？なに？おしえて！献血

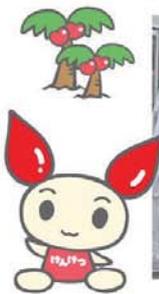
～夏休み親子献血教室～



夏休み中の子供たち(小学4～6年)と保護者の方を対象として、血液センターで献血教室を7月30日(土)と8月11日(木祝)に開催しました。

子供たちは、血液の仕組みを学んだり、血液を顕微鏡で観察したりするほか、普段はなかなか見ることが出来ない血液センターの中を見学頂きました。また、実際の献血しながらに問診や血圧測定を受け、献血バスに乗って献血体験(模擬献血)を行い、献血について楽しみながら知っていただきました。

当日は、学生献血推進ボランティア(以下、学生ボランティア)も参加し、医師や看護師、受付職員役となってもらい、子供たちの学びをサポートしてくれました。



七夕献血キャンペーン 2022



7月3日(日)アル・プラザ金沢、イオンモール白山、献血ルーム ル・キューブの3会場で石川県学生献血推進委員会が主催する『七夕献血キャンペーン2022』が開催されました。

コロナ禍で2年間、十分な活動ができていませんでしたが、当日は総勢72名の学生ボランティアが呼びかけ活動を行い、多くの方に献血協力いただきました。

会場内に県内の医療機関様よりお預かりした輸血を受けられている患者さんからの感謝のメッセージを掲示し、七夕の短冊に献血者から患者さんへ激励のメッセージを募集することで、学生ボランティアが患者さんと献血者との架け橋となり、献血の必要性を伝えました。





献血ルーム
くらつき

天理教献血協力 パワーアップ!!



ありがとう
ございます!

8月28日(日)、天理教石川教区さんの献血協力を日曜日に臨時開設して行いました。当日はコロナ禍で血液確保の難しい中、52名の方のご協力をいただき本当にありがとうございました。



天理教石川教区 担当者からの一言 中谷規雄さん //

天理教石川教区では、毎年1月に献血ルーム「くらつき」で新春献血デーを実施しており、今年でもう37年目になります。当日は午前8時30分から午後4時まで、ルーム内に当団体としての受付を設置していただき、時間ごとに予約した献血者がスムーズに献血できるようお世話しています。その活動の中で献血常連さんも増えてきて、通算100回、200回、中には700回以上という人も。

今年は、コロナ禍で献血者が減少していることもあり、年内にもう1回できないかとセンターの方から要請をうけて、8月28日(日)にサマー献血デーを実施しました。

このほか、かなざわはこまちの献血ルーム「ルキューブ」に月2回、若い人を派遣して、献血者のお世話等の奉仕をしています。長年にわたる献血推進活動が評価されて、令和元年に金沢市で開催された第55回献血運動推進全国大会では、団体として日本赤十字社銀色有功賞を授与されました。

私たちは、与えられている身体の健康に感謝し、病む人の助けにつながっていく献血活動を今後も地道に進めて参りたいと思っています。

永年献血

なかにし やす お
中西 泰夫 さん
〈野々市市在住〉



会社に入って始まった献血ですが最後の献血となりました。RHマイナスだった為、なるべく献血するようにしていました。少しは役立ったと思っています。

献血ルーム
ル・キューブ

献血 ROOM LE CUBE



金沢大学医薬保健学域看護学専攻実習班の方々に、成分献血をご協力いただきました。実習の合間にご来所いただきました。

Staff Members
職員紹介



1 献血推進課 神野 克也さん KATSUYA JINNO

人見知りな私ですが、献血受付で色々な会場にお伺いする中で、気さくに声をかけて下さる献血者の方とお話しする機会が多く、今では様々な方とお会いするのが楽しくなり、とても刺激的な毎日です。

これからも皆さまに居心地良く献血いただける場を提供できるように心掛けていきたいです。

ぜひ皆さまのお越しをお待ちしています！

2 献血推進課 北 直也さん NAOYA KITA

やりがいを感じた瞬間は、献血会場に多くの献血者の方が集まり、献血に協力していただいたときです。

献血は、献血者の善意があってこそ成り立っている事業であるため、日々感謝しながら業務を行っております。また、各担当部署の連携によって、血液が輸血を待っている患者さんに届けられるまでの業務に携わることができてやりがいを感じています。



3 学術情報・供給課 柳瀬 貴元さん TAKAYUKI YANASE

私の業務は献血者の血液を病院に届けることです。その中で、病院との交渉の際、1単位製剤を使ってもらえた時にやりがいを感じます。輸血の約98%は2単位製剤ですが、献血にご協力頂いた方には1単位製剤の方もいます。そういった方々の血液（善意）を無駄にしないためにも交渉し使用してもらう必要があるからです。



2022年度石川県合同輸血療法委員会
金沢講演会が開催されました。

8月22日に現地+Webのハイブリッドにて2022年度石川県合同輸血療法委員会金沢講演会を開催しました。石川県の輸血担当の検査技師の方をメインに医師、薬剤師、看護師の仕事をしている総勢76名の方に参加いただきました。講演内容は、①病院との取り決めた時間に血液を配送する定時配送のお話②血液製剤のWeb発注および多職種ディスカッション③埼玉県赤十字血液センターの西岡係長より「輸血医療のup to date」について講演いただきました。当日はあいにくの大雨で現地にて参加を予定されていた方でもWebに変更される方もおり、会場では少し寂しくなりましたが、活発な意見交換が行われ充実した講演会となりました。今後も当委員会ではこういった講演会や勉強会を定期的開催し県内の輸血医療の発展に貢献していきます。

石川県合同輸血療法委員会とは？

各都道府県に、輸血医療を実施している医療機関、血液製剤を供給している赤十字血液センター、そして管轄する行政の三者による「合同輸血療法委員会」が設置されています。献血により頂いた血液が必要な人に必要な量届けられているか、無駄にしているかを調査し、県内の輸血医療に係る様々な問題を共有しながら解決に向かって努力しています。



あとがき

秋の声が聞こえる美しい季節が到来しました。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋…。皆様はどんな秋をお過ごしですか。私はもっぱら食欲の秋！柿、栗、さつまいも、秋刀魚…秋は美味しいものがたくさんありますね。酷暑の影響で夏場は食欲も睡眠の質も落ちてしまい、低比重で献血できない方も少なくありません。献血できなかった方は今から美味しいものをたくさん食べてぐっすり寝て、元気いっぱいチャージして献血会場にお越しください。職員一同お待ちしております！

